

機械器具 52 医療用拡張器
一般医療機器 食道拡張器 JMDN コード: 35009000

スリット入り胃管挿入ガイド

再使用禁止

【禁忌・禁止】

再使用禁止

食道静脈瘤・食道がん術後等の患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】



本製品は、円柱状の中空体で、胃管挿入補助具である。胃管挿入後、スリットを介して本品を抜去することができる。

材質:ポリ塩化ビニル(可塑剤:フタル酸ジ-2-エチルヘキシル)
滅菌:EOG 滅菌

【使用目的又は効果】

本品は、食道の構造・通路を拡張するために用いる。

【使用方法等】

- 1.本品に異常がないことを確認する。
- 2.本品を汚染に十分注意しながら包装内より取り出す。
- 3.本品の先端に水溶性潤滑剤を塗布し、経口的に食道内に誘導する。
(抵抗があったら無理に進めない等、できるだけ愛護的に行う。
難しければ喉頭鏡などで口腔内を目視しながら行う。)
- 4.水溶性潤滑剤を塗布した胃管チューブを本品の内腔に沿って、
胃まで到達させる。
* 経鼻的に胃管チューブを留置したい場合は、まず本品を上記のよ
うに食道に誘導した後、胃管チューブを経鼻的に口腔内に誘導し、
喉頭鏡等で口腔内の胃管チューブを、目視下にマギール鉗子等で一
度口腔外に取り出し、再度胃管チューブを本品に沿って挿入し、胃
まで到達させる。
- 5.胃管チューブが胃内に挿入されていることを確認した後、本品を
スリット部を使って胃管チューブから外し口腔外に取り出す。
- 6.胃管チューブを適切な位置に固定し、口側を開放する。
- 7.終了後、感染・汚染に注意しながら、本品を安全に廃棄する。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

- ・本品と共に他の製品(胃管カテーテル等)を使用する場合は、製品の添付文書又は取扱説明書を必ず読み、その指示に従って使用すること。

＜不具合・有害事象＞

1) 不具合

チューブの閉塞、狭窄、潰れ、キンク、破損

2) 有害事象

本品の使用に伴い、以下の有害事象が生じる可能性があるため、
患者の状態を十分に観察し、異常が生じた場合は直ちに使用をやめ、
適切な措置を施すこと。

- ・咽頭の粘膜損傷や出血等
- ・喉頭痙攣の誘発等
- ・食道の粘膜損傷や出血等

【保管方法及び有効期間等】

＜保管方法＞

- ・水ぬれに注意し、高温、多湿、直射日光のあたる場所をさけて
室温で保管すること。

＜使用期間＞

- ・製品の外箱の使用期限欄を参照すること

【主要文献及び文献請求先】

株式会社 フジメディカル

TEL:03-3356-8377

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者:

株式会社 フジメディカル

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-1 細井ビル 5F

TEL:03-3356-8377

外国製造業者:

パシフィックホスピタルサプライ社

Pacific Hospital Supply Co., LTD.

台湾

